

ALPHA

PAL8942 Installation Guide

Last revised : Feb. 2002

X001ZF1G-01

Model **PAL8942**

For Pentium 4 (mPGA478)

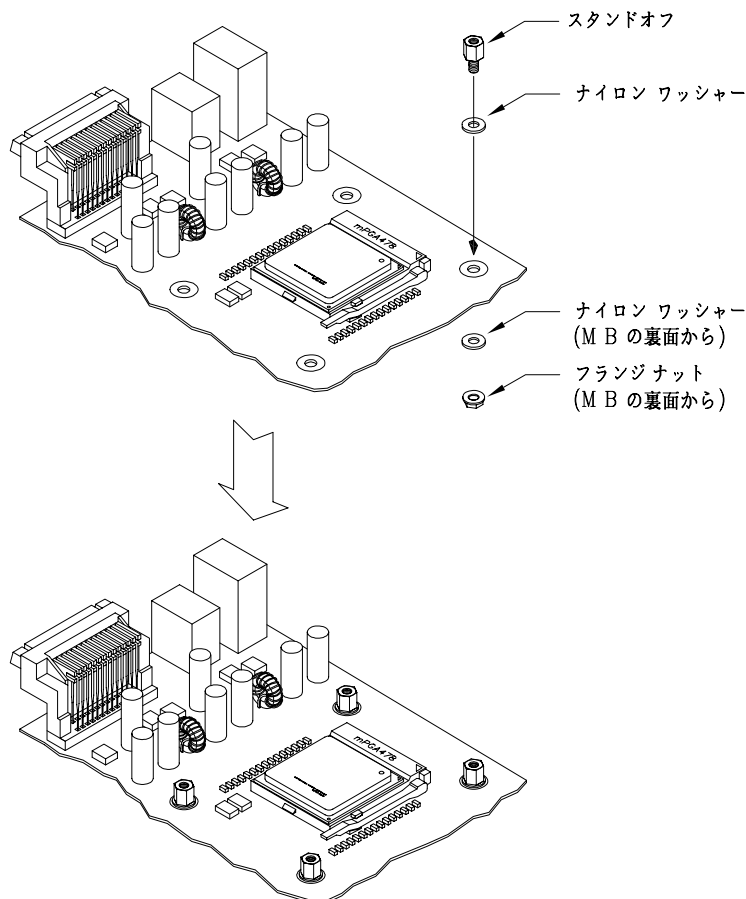
梱包の中に次の物が同梱されているか、ご確認ください。

PARTS	QTY	MODEL		
		PAL8942 T	PAL8942 M81	PAL8942 M82
ヒートシンク	1	○	○	○
インタークカバー	1	○	○	○
ネジ, M3 x 60 (15mm 厚 ファン取付用)	4	○	○	○
ネジ, M3 x 70 (25mm 厚 ファン取付用)	4	○	○	○
ワッシャー (ファン取付用)	4	○	○	○
ネジ, M3 x 35	4	○	○	○
スプリング, OD 6 x 27	4	○	○	○
ナイロン ワッシャー	8	○	○	○
スタンドオフ	4	○	○	○
フランジナット	4	○	○	○
ファン (80mm 角 x25 ファン)	1		○	
ファン (80mm 角 x15 ファン)	1			○
サーマルグリス YG6260-5	1		○	○

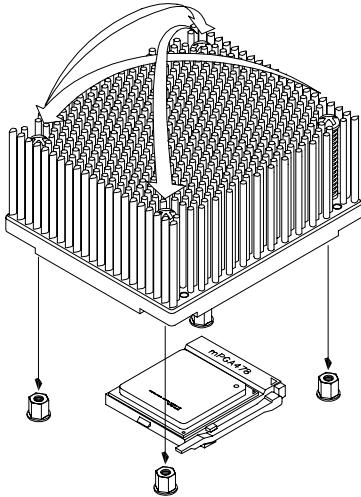
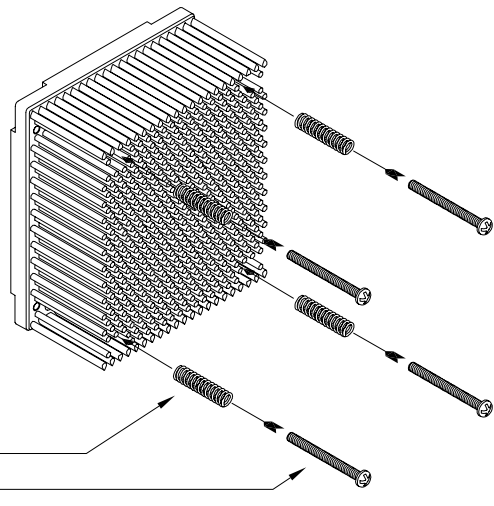
STEP 1 PAL8942を取付ける前にMBをケースから取り外します。

STEP 2 スタンドオフのネジ部分をナイロンワッシャーに通しMBの穴にセットします。MBの裏面側にもナイロンワッシャーを入れフランジナットで固定します。

MBへのダメージを避ける為、ナットの締め過ぎに注意して下さい。



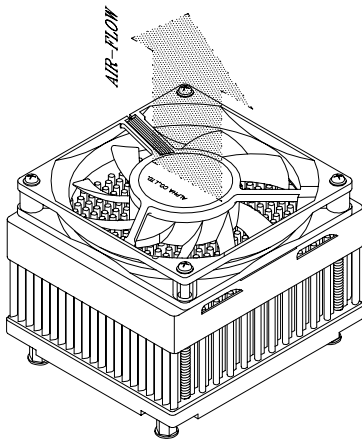
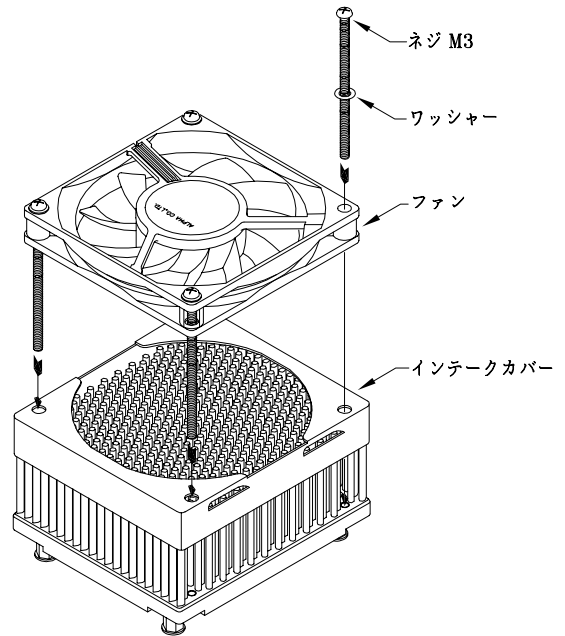
STEP 3 ネジ M3x35 にスプリングをセットしヒートシンクの4箇所(図)の穴にセットします。図のようにヒートシンクを横にするとセットが簡単です。



STEP 4 コア上面にサーマルグリスを塗布して下さい。次にスプリングのネジがスタンドオフ上にくる様ヒートシンクをセットします。この時CPUコアにヒートシンクをぶつけない様注意して下さい。ネジは一つのネジだけ一度に締めないで、図のように対角のネジと交互に(十字を何回か繰り返す様に)締め付けて下さい。ネジがスタンドオフの底に届いたら、ネジ締めは完了です。ネジの締めすぎに注意して下さい。締めすぎは性能向上に寄与しないばかりか、スプリング側ネジがスタンドオフの底に食い込み、後日ヒートシンクを外す時 供回りする可能性があります。

STEP 5 インテークカバーの白いシートは加工時の傷防止用のシートですので組付け前に取除いてください。インテークカバーをヒートシンクの上に載せます。(カバー内側のストッパー部がヒートシンクのピン上部に引掛かり、ヒートシンクとインテークカバーには5mmの隙間が出来ます。)

右図のように M3 ネジをファンの穴に通します。(15mm厚ファンの場合はM3x60のネジを、25mm厚ファンの場合はM3x70のネジを使用します。) インテークカバーの穴にネジを通しヒートシンクベースのネジ穴で固定します。この時もSTEP 4と同様に交互にネジを締めて下さい。PAL8942M81付属ファンのフレームは"フランジタイプ"です。フランジが大きく変形しない様締めすぎには特に注意して下さい



STEP 6 最後にファンケーブルをマザーボードのファン用コネクタに取付けます。これでPAL8942の取り付けが完了しました。ヒートシンクがCPUと傾くことなく設置されているか目視で確認して下さい。MBをケースに組み付けます。ケースや他のコンポーネント等にヒートシンクが干渉していないか最終確認を行って下さい。

information subject to change without notice.